| 学校番号 | 218 |
|---|---|

平成 31 年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 社会と情報 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 見てわかる社会と情報　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主制作プリント | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータを使用した実習も行ないます。
・実習を通して作成した作品の発表などを取り入れた授業を行います。
・スマートフォンの正しい利用方法、情報モラルをしっかりと身に付けてください。

2　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解する。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用する。
・情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行うことができる。
・情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | さまざまな情報機器の特徴と役割についての関心を持ち、コンピュータやスマートフォンを日常的に利用する際に情報モラルについて意識する。 | 情報化によってもたらされたメリットとデメリットを知った上で、望ましい情報社会のあり方を考える。 | インターネットやコンピュータの危険性を把握した上で、これらの情報機器を有効に活用する。 | 情報化が社会に及ぼす影響を理解する。情報社会のさまざまな課題について理解する。 |
| 評価方法 | 実技課題<br>補助プリント<br>定期テスト<br>観察等 | 実技課題<br>補助プリント<br>定期テスト<br>観察等 | 実技課題<br>補助プリント<br>定期テスト<br>観察等 | 実技課題<br>補助プリント<br>定期テスト<br>観察等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 情報機器の基本的な使い方 | コンピュータによる文字入力文書作成の技術を身に付ける<br><br>情報機器の特徴と役割を理解する<br><br>教材:「情報機器の基本的な使い方」<br>副教材:プリント | ◎ | ○ | ○ | | a:学習したことを活かして情報機器に関心を持ち、積極的に活用する<br>b:文書処理ソフトを利用し自ら工夫して文書などを作成できるようになる<br>c:文書処理ソフトの基本操作を取得する | a:行動観察<br><br>b:課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出 |
| | インターネットを利用する上での注意点 | インターネットを利用する上で望ましい態度を身につける<br><br>教材:「情報機器を利用するときの注意点」<br>副教材:プリント | ○ | ◎ | ○ | | a:望ましい情報機器との接し方について進んで学ぼうとする<br>b:コンピュータやインターネットの望ましい活用方法を考える<br>c:コンピュータやインターネットを適切に活用する技能を身につける | a:行動観察<br><br>b:課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出 |
| | 問題解決の手順と方法 | 問題を解決する手段と方法を主体的に取得する<br><br>教材:「問題解決の手段と方法」<br>副教材:プリント | ○ | ◎ | ○ | | a:表計算ソフトウェアの操作実習に意欲的に取り組む<br>b:文書に書き出すことで問題を明らかにする<br>c:表計算ソフトウェアの基本操作を習得する | a:行動観察<br><br>b:課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出 |
| 2学期 | 情報を分かりやすく伝える | 情報を発信し、相手に効果的に伝える手段や方法を学ぶ<br><br>教材:「情報を分かりやすく伝える」<br>副教材:プリント | | ○ | ○ | ◎ | b:発信する情報の内容を踏まえて適切に選択する<br>c:プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を習得する<br>d:発表の手順や手段を理解する | b: 課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出<br>d:課題発表 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 情報セキュリティの確保 | 情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を身につける<br><br>教材:「情報セキュリティの確保」<br>副教材:プリント | ◎ | ○ | ○ | | a:情報セキュリティの確保について感心を持ち、進んで対策を行おうとする態度を身につける<br>b:どのような情報セキュリティの対策が必要か具体的に考える<br>c:情報セキュリティの確保のための技術的な方法を身につける | a:行動観察<br><br>b:課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出 |
| 3学期 | 情報通信ネットワークとコミュニケーシ | コミュニケーション手段の発達、情報の特徴、メディアの意味を理解する<br><br>教材:「情報通信ネットワークとコミュニケーシ」<br>副教材:プリント | ○ | ◎ | ○ | | a:コミュニケーション手段の変化に関心を持つことが出来る<br>b:情報の特徴について考えることができる<br>c:情報を発信する時、公開範囲やアクセス権などを適切に設定することができる | a:行動観察<br><br>b:課題提出<br><br>c:行動観察及び課題提出 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。